

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第21週 （5月23日～5月29日）

## ★お知らせ

### ○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第20週の1.40から第21週では1.87と増加しています。中央西、幡多、中央東、高知市で増加し、中央西で注意報値を超えています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、例年、春から初夏に報告数が増えることが多いため、今後の動向に注意が必要です。

この病気は、高熱・咽頭痛・おう吐を主症状とする細菌性の感染症で、熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善しますが、まれに重症化し、喉や舌・全身に発赤が広がる猩紅熱といわれる全身症状や、リウマチ熱や急性糸球体腎炎などの合併症を起こすこともあります。通常、患者との接触を介して伝播するため、ヒトとヒトとの接触の機会が増加するときに感染が拡大しやすく、家庭、学校などでの集団感染事例も多く報告されています。うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

### ○伝染性紅斑（リンゴ病）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第20週の0.50から第21週では0.53とほぼ横ばいですが、安芸、幡多、中央西、須崎で増加し、安芸、幡多では注意報値を超えています。

伝染性紅斑は、皮膚の発しんを主症状とし、両頬がリンゴのように赤くなることから別称「リンゴ病」とも呼ばれます。約10日（4～20日）の潜伏期間の後、両頬に境界鮮明な紅い発しんが現れ、続いて体や手・足に網目状の発しんが広がります。これらの発しんは、通常1週間程度で消失しますが、多くの場合、頬に発しんが出現する7～10日前に、微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発しんが現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。

妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、まれに胎児の異常（胎児水腫）や流産が生じることがあるので注意が必要です。

予防接種はありません。予防には、手洗い、咳エチケットが有効です。

### ○百日咳に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第20週の0.03から第21週では0.07と急増しています。須崎、中央東で増加し、両保健所とも注意報値を超えています。

百日咳は、一年を通じて発生が見られますが、春から夏、秋にかけての発生が比較的多いです。また、感染力が強いので注意してください。予防対策はうがい、手洗い、咳エチケットです。

生後6ヶ月未満の乳児では、無呼吸発作等、重篤になることがあります。

軽症でも菌の排出はあるため、予防接種をしていない新生児、乳児がいる場合は感染に対する注意が必要です。

感染予防のためにワクチン接種をお勧めします。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第20週の3.93から第21週では5.00と増加しています。須崎以外で増加しています。定点医療機関からのホット情報では、ロタウイルス2例、ノロウイルス1例、カンピロバクター4例、サルモネラ1例、病原性大腸菌2例が報告され、また基幹定点医療機関からの感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）も2例報告されています。

感染性胃腸炎の予防には、手洗いが有効です。帰宅時や調理・食事前、トイレの後には、石けんでよく手を洗い、タオルは共用せず専用のものにしましょう。また、調理をする場合はよく加熱（85℃で1分以上）しましょう。感染した人の便やおう吐物には、直接触れないよう、使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処分してください。

ロタウイルスの予防方法には、任意による予防接種がありますので、かかりつけの医療機関に相談してください。

## ○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

第21週は基幹定点からの14例に加えて、定点医療機関からのホット情報で8例、感染症情報収集システムでは7例の報告があるなど、報告数が多くなっています。

マイコプラズマ肺炎は患者の咳によって飛沫感染するため、家庭内や職場内等での感染がよく見られます。感染を広げないためのポイントは、咳エチケットと手洗いです。

## ○夏型感染症（咽頭結膜熱（プール熱）・手足口病・ヘルパンギーナ）に注意しましょう！

これから夏に向け夏型感染症が流行期を迎えます。これらの疾病は主に接触感染、飛沫感染、患者の便により感染が拡大します。幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けるなどして、感染予防に努めてください。また、咽頭結膜熱は別名プール熱とも呼ばれるなど、プールでの感染が多い疾病です。うがい、手洗い等の予防対策に加えて、プールの前後はシャワーをよく浴びる等して、感染予防に努めましょう。

## ☆マダニの感染症(日本紅斑熱・SFTS)注意！

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）はマダニが媒介する感染症です。すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。

野山や畑、草むらなどに出かけるときは、次のことに注意しましょう。

▲肌を出さないよう、長袖、長ズボン、長靴、帽子、手袋等を着用しましょう。

▲マダニ用の忌避剤を使用する。

▲帰宅後は、すぐに入浴してマダニに咬まれていないか確認し、新しい服に着替えましょう。

▲野外から帰った犬や猫はダニが付着している可能性があるため、よく見てあげましょう。

▲吸血中のマダニを見つけたら、無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残ったり、マダニの体液が人体内に逆流してしまう可能性があるため、医療機関を受診し、処置してもらってください。

### 発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに刺されたこと）を申し出て下さい。

## ●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

## ★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減

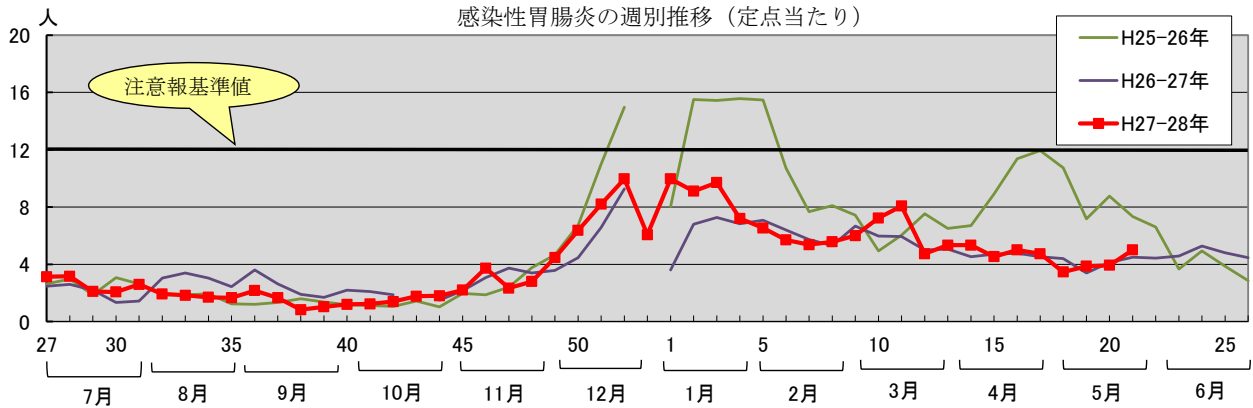
21週（5月23日～5月29日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		5.00	須崎以外で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.87	中央西、幡多、中央東、高知市で増加し、中央西で注意報値を超えています。
流行性耳下腺炎		0.60	幡多で増加しています。
伝染性紅斑		0.53	安芸、幡多、中央西、須崎で増加し、安芸、幡多では注意報値を超えています。
突発性発疹		0.40	高知市、中央東で増加しています。



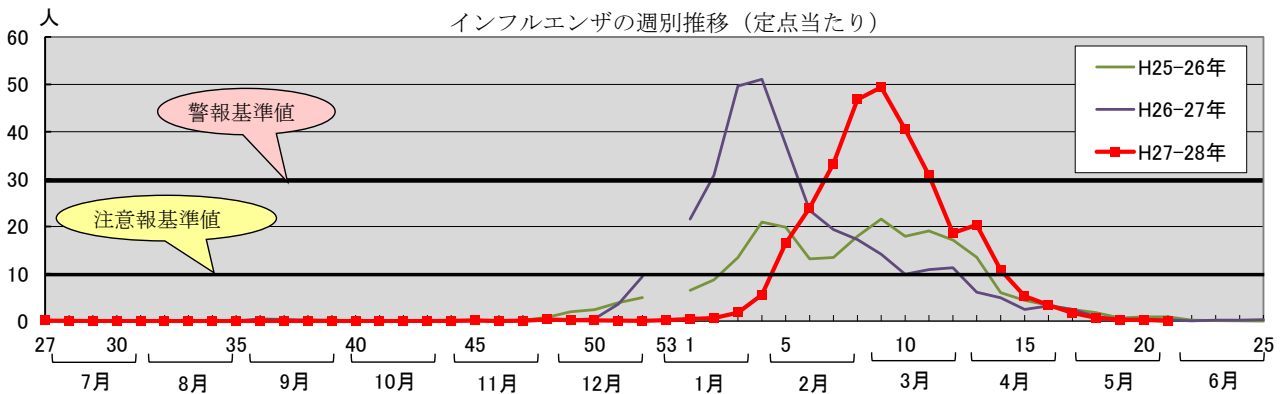
○**感染性胃腸炎 第21週： 5.00** (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 5.00 (前週：3.93) と増加しています。安芸 10.50 (前週：5.00)、中央東 7.43 (前週：5.86)、中央西 5.33 (前週：4.00)、高知市 4.18 (前週：3.73)、幡多 3.00 (前週：2.40) で増加しています。



○**インフルエンザ 第21週： 0.06** (注意報値：10.00 警報値：30.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.06 (前週：0.25) と急減しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、今週よりグラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H25-H26年とH26-H27年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★**病原体検出情報**

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
17	-	1ヶ月	男	中央東	Echovirus 18
19	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	男	高知市	<i>Streptococcus pyogenes T4</i>
20	インフルエンザ	4	男	高知市	Influenza virus B/Victoria
20	流行性耳下腺炎	5	女	須崎	Mumps virus

★**全数把握感染症**

第21週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
5類	破傷風	1	1	60歳代女	高知市
		1	2	90歳代男	高知市

## ★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安 芸	田野病院小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症1例（10ヶ月男）
		アデノウイルス扁桃炎1例（5歳男）
中央東	あけぼのクリニック	ヒトメタニューモウイルス感染症6例 （0歳、1歳2人、2歳、3歳2人）
		ロタウイルス胃腸炎1例（9ヶ月）
	高知大学医学部附属病院小児科	ノロウイルス胃腸炎1例（36歳男）
		無菌性髄膜炎1例（日齢23男）
	早明浦病院小児科	マイコプラズマ肺炎2例（5歳男女）
おひさまこどもクリニック	アデノウイルス扁桃炎2例（1歳女）	
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス扁桃炎4例（1歳男、1歳女3人）
		マイコプラズマ肺炎6例（8歳男2人、13歳男、14歳女2人、17歳女）
		カンピロバクター腸炎2例（14歳男、17歳女）
	細木病院小児科	ロタウイルス1例（1歳女）
		カンピロバクター2例（5歳男、6歳男）
		サルモネラ1例（5歳女）
	三愛病院小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症1例（4歳男）
	高知医療センター小児科	RSウイルス感染症3例（0ヶ月女、2ヶ月男、1歳男）
		ヒトメタニューモウイルス感染症1例（1歳女）
		A群レンサ球菌1例（5歳男）
病原性大腸菌2例（3ヶ月男、5ヶ月男）		
アデノウイルス2例（1歳男女）		
中央西	くぼたこどもクリニック	ヘルパンギーナ1例（1歳女：須崎市）
	石黒小児科	ヘルペス性歯肉口内炎1例（1歳女）
		流行性耳下腺炎1例（5歳女：おたふくワクチン接種1回済み）
		水痘1例（3歳男：ワクチン2回接種済み）
		帯状疱疹1例（18歳女）
	日高クリニック	ヒトメタニューモウイルス感染症2例（1歳男、2歳女）
		アデノウイルス感染症（扁桃炎）2例（1歳男、2歳女）
帯状疱疹1例（5歳女）		
幡 多	さたけ小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症1例（2歳女）
		アデノウイルス1例（2歳女）

### ■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行令が一部改正され、平成28年2月15日からジカウイルス感染症が全数報告の対象となる四類感染症となりました。診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることをお願いします。

●国立感染症研究所 ジカウイルス感染症のリスクアセスメント 2016年5月13日更新

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

●厚生労働省検疫所 海外感染症情報

<http://www.forth.go.jp/index.html>

●外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●国立国際医療研究センター ジカ熱/ジカウイルス感染症 2016年5月11日更新

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-ジカウイルス感染症/>

●ジカウイルス感染症 定義（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-44.html>

●ジカウイルス感染症 発生届様式（PDF）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf>

●ジカウイルス感染症について（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

★全国情報

第18号 (5月2日～5月8日) ※

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核217例

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症20例、腸チフス1例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎4例、コクシジオイデス症1例、つつが虫病1例、デング熱5例、日本紅斑熱1例、マラリア1例、レジオネラ症11例

5類感染症：アメーバ赤痢5例、ウイルス性肝炎2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症11例、急性脳炎5例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、後天性免疫不全症候群3例、ジアルジア症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症6例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症36例、梅毒24例、播種性クリプトコックス症1例、破傷風2例、風しん2例

報告遅れ：E型肝炎4例、レジオネラ症2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症14例、急性脳炎3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、水痘（入院例に限る）5例、梅毒11例

第19号 (5月9日～5月15日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核396例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症30例、パラチフス2例

4類感染症：E型肝炎6例、A型肝炎7例、重症熱性血小板減少症候群3例、つつが虫病4例、デング熱9例、日本紅斑熱5例、マラリア1例、レジオネラ症23例

5類感染症：アメーバ赤痢15例、ウイルス性肝炎3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症14例、急性脳炎7例、クリプトスポリジウム症1例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、後天性免疫不全症候群13例、侵襲性インフルエンザ菌感染症4例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症65例、水痘（入院例に限る）3例、梅毒84例、破傷風3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん3例、麻しん3例

報告遅れ：腸チフス1例、E型肝炎14例、つつが虫病4例、デング熱1例、日本紅斑熱2例、レジオネラ症10例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症17例、急性脳炎10例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、水痘（入院例に限る）4例、梅毒29例、播種性クリプトコックス症3例

※全国情報第18号については、第20週週報に、第17・18号合併号として掲載すべきところでしたが、掲載抜かりとなっていたため、今週掲載させていただきました。



高知県感染症情報(58定点医療機関)

第21週 平成28年5月23日(月)～平成28年5月29日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第21週					計	前週	全国(20週)	高知県(21週末累計)		全国(20週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H28/1/4～H28/5/29	
インフルエンザ	インフルエンザ				2		1		3 ( 0.06)	12 ( 0.25)	2,357 ( 0.48)	14,925 ( 310.94)	1,578,689 ( 319.12)
小児科	咽頭結膜熱				5	2		1	8 ( 0.27)	12 ( 0.40)	1,755 ( 0.56)	74 ( 2.47)	22,717 ( 7.20)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		15	15	14	1	11	56 ( 1.87)	42 ( 1.40)	8,848 ( 2.83)	1,431 ( 47.70)	167,672 ( 53.13)	
	感染性胃腸炎	21	52	46	16		15	150 ( 5.00)	118 ( 3.93)	19,295 ( 6.16)	3,791 ( 126.37)	404,004 ( 128.01)	
	水痘		1	1	1		2	5 ( 0.17)	4 ( 0.13)	1,139 ( 0.36)	145 ( 4.83)	25,325 ( 8.02)	
	手足口病		1	4				5 ( 0.17)	4 ( 0.13)	428 ( 0.14)	23 ( 0.77)	2,697 ( 0.85)	
	伝染性紅斑	2	1	5	2	1	5	16 ( 0.53)	15 ( 0.50)	1,314 ( 0.42)	140 ( 4.67)	30,369 ( 9.62)	
	突発性発疹	1	3	7			1	12 ( 0.40)	10 ( 0.33)	1,828 ( 0.58)	183 ( 6.10)	26,965 ( 8.54)	
	百日咳		1				1	2 ( 0.07)	1 ( 0.03)	65 ( 0.02)	38 ( 1.27)	877 ( 0.28)	
	ヘルパンギーナ		1	1	1			3	6 ( 0.20)	7 ( 0.23)	656 ( 0.21)	27 ( 0.90)	2,229 ( 0.71)
	流行性耳下腺炎			4	6			8	18 ( 0.60)	17 ( 0.57)	2,967 ( 0.95)	341 ( 11.37)	52,802 ( 16.73)
RSウイルス感染症			4				1	5 ( 0.17)	3 ( 0.10)	312 ( 0.10)	575 ( 19.17)	22,327 ( 7.07)	
眼科	急性出血性結膜炎									8 ( 0.01)		170 ( 0.25)	
	流行性角結膜炎			1				1 ( 0.33)	2 ( 0.67)	452 ( 0.66)	11 ( 3.67)	8,695 ( 12.62)	
基幹	細菌性髄膜炎									9 ( 0.02)	1 ( 0.13)	168 ( 0.35)	
	無菌性髄膜炎			1				1 ( 0.13)	1 ( 0.13)	29 ( 0.06)	6 ( 0.75)	385 ( 0.81)	
	マイコプラズマ肺炎		2	11			1	14 ( 1.75)	8 ( 1.00)	250 ( 0.53)	105 ( 13.13)	4,756 ( 10.03)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								1 ( 0.13)	9 ( 0.02)	24 ( 3.00)	160 ( 0.34)	
	感染性胃腸炎			2				2 ( 0.25)	4 ( 0.50)	174 ( 0.37)	229 ( 28.63)	4,455 ( 9.40)	
計(小児科定点当たり人数)	24 ( 12.00)	77 ( 10.70)	109 ( 8.47)	42 ( 14.00)	4 ( 1.75)	48 ( 9.40)	304 ( 9.51)		41,895	22,069 ( 536.56)	2,355,462		
前週(小児科定点当たり人数)	13 ( 6.25)	62 ( 8.67)	110 ( 8.65)	33 ( 10.98)	9 ( 3.50)	34 ( 6.40)		257 ( 8.00)					

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第21週					計	前週	全国(20週)	高知県(21週末累計)		全国(20週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H28/1/4～H28/5/29	
インフルエンザ	インフルエンザ				0.13		0.25		0.06	0.25	0.48	310.94	319.12
小児科	咽頭結膜熱				0.45	0.67		0.20	0.27	0.40	0.56	2.47	7.20
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.14	1.36	4.67	0.50	2.20	1.87	1.40	2.83	47.70	53.13	
	感染性胃腸炎	10.50	7.43	4.18	5.33		3.00	5.00	3.93	6.16	126.37	128.01	
	水痘		0.14	0.09	0.33		0.40	0.17	0.13	0.36	4.83	8.02	
	手足口病		0.14	0.36				0.17	0.13	0.14	0.77	0.85	
	伝染性紅斑	1.00	0.14	0.45	0.67	0.50	1.00	0.53	0.50	0.42	4.67	9.62	
	突発性発疹	0.50	0.43	0.64			0.20	0.40	0.33	0.58	6.10	8.54	
	百日咳		0.14				0.50	0.07	0.03	0.02	1.27	0.28	
	ヘルパンギーナ		0.14	0.09	0.33		0.60	0.20	0.23	0.21	0.90	0.71	
	流行性耳下腺炎			0.36	2.00		1.60	0.60	0.57	0.95	11.37	16.73	
RSウイルス感染症			0.36			0.20	0.17	0.10	0.10	19.17	7.07		
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.25	
	流行性角結膜炎			1.00				0.33	0.67	0.66	3.67	12.62	
基幹	細菌性髄膜炎									0.02	0.13	0.35	
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13	0.13	0.06	0.75	0.81	
	マイコプラズマ肺炎		2.00	2.20			1.00	1.75	1.00	0.53	13.13	10.03	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0.13	0.02	3.00	0.34	
	感染性胃腸炎			0.40				0.25	0.50	0.37	28.63	9.40	
計(小児科定点当たり人数)	12.00	10.70	8.47	14.00	1.75	9.40	9.51			536.56			
前週(小児科定点当たり人数)	6.25	8.67	8.65	10.98	3.50	6.40		8.00					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869